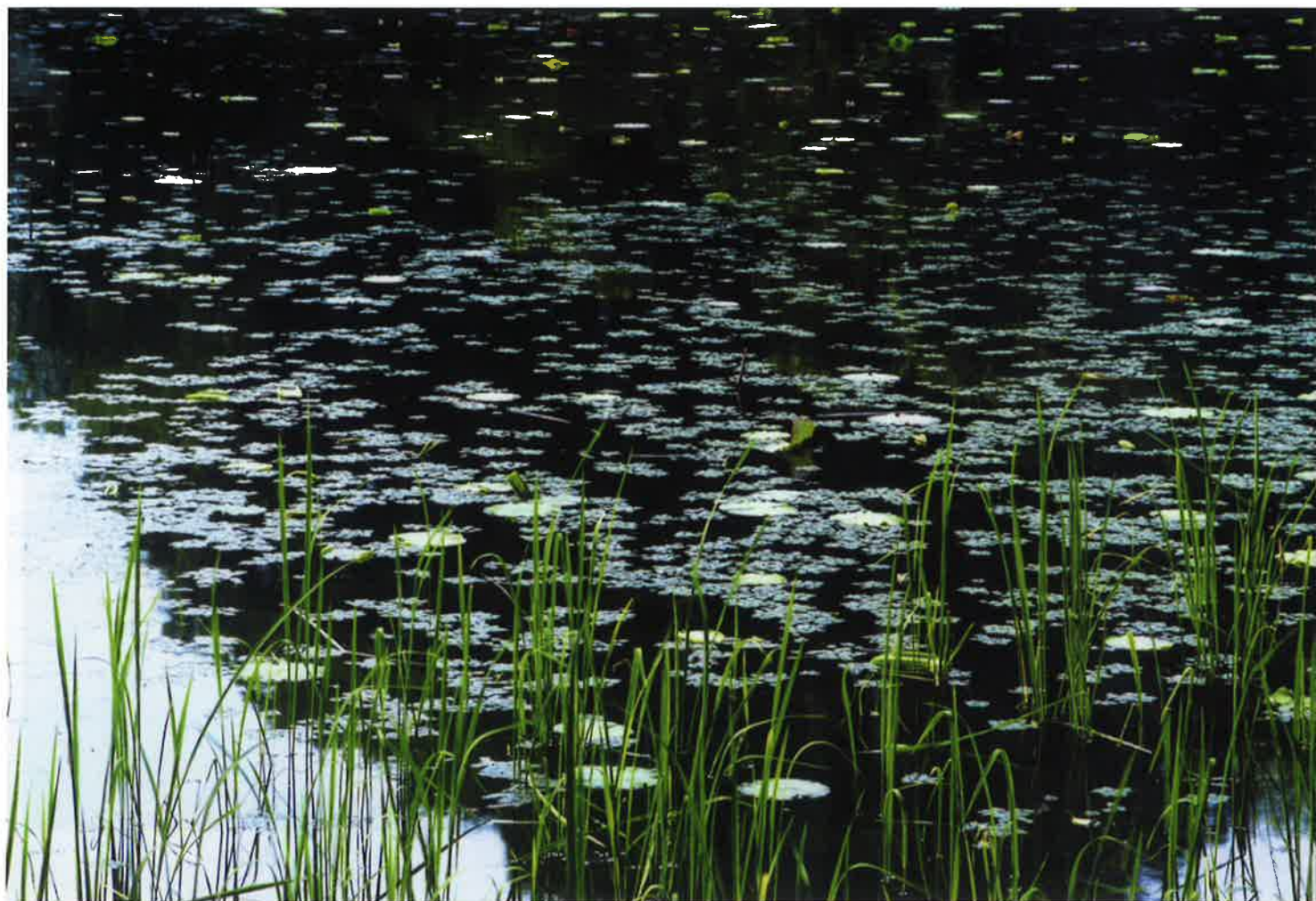


みどりとともに

第 14 号

2007年 8 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会
水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館 3階



も く じ

奥久慈グリーンライン林道整備事業について.....	2
林業の活性化と中国木材(株)の鹿島港(神栖市)進出について.....	3
城里町における森林整備.....	4
森林環境税の早期実現について.....	5
協会だより.....	6
平成19年度 通常総会の開催	
協会の主な動き.....	8



奥久慈グリーンライン林道整備事業について

茨城県林業課

奥久慈グリーンライン林道整備事業は、大子町・常陸太田市・常陸大宮市に渡る広い地域において幹線となる林道を一体的に整備し、地域の森林・林業の活性化と生活環境基盤の充実を図るための事業で、今年度で13年目を迎えます。この事業は、皆様方のご支援・ご協力により順調に進展しております。今回は、現在までに着工している路線の概要についてご紹介させていただきます。

当該事業の全体計画は、9路線で、総延長約71km、総事業費288億円とし、平成7年から26年までの20年間で実施することとしております。現在までに早期完成を目指して、全9路線のうち5路線（北吉沢下野宮線、水根持方線、武生線、諸沢線、照山線）について幅員等の見直しを行うとともに予算の重点化を図り集中的な工事を行ってまいりました。この結果、5路線のうち、2路線が供用を開始しております。

まず始めに、平成16年度に供用開始いたしました諸沢線は、常陸大宮市諸沢戸屋（旧山方町）から同市諸沢沼ノ入の区間を結ぶ総延長2,783mの林道であり、地域の林業の活性化が図られるとともに、生活環境が大いに改善されました。



林道 諸沢線

次に、常陸大宮市西野内から同市小貫の区間を結ぶ総延長7,389mの照山線が平成19年度に供用開始となりました。照山地区は、数戸から数十戸程度の小規模な集落が点在しており、これらの集落間を結んでいた市道は、幅員が狭く曲線部も多いため地域住民の生活道としては不便な状況でした。この照山線の供用開始により地域林業の活性化はもとより、国県道とのアクセス機能の向上が図られたことから、地域住民の皆様の生活環境が大いに改善されるものと確信しております。



林道 照山線

その他の3路線の進捗状況につきましては、平成18年度末で見てもみますと。大子町の北吉沢下野宮線が76.7%、大子町と常陸太田市を結ぶ水根持方線が29.9%、常陸太田市の武生線が28.7%となっております。

今後は、これらの3路線について集中的な投資を行い早期完成を目指して参りますので、関係者の皆様方には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

林業の活性化と中国木材(株)の 鹿島港(神栖市)進出について

茨城県林政課 森づくり推進室

県では、林業・木材産業の活性化と森林の多面的機能の高度発揮を目指して、昨年3月に策定しました「茨城県森林・林業振興計画」に基づき、間伐をはじめとする森林整備の促進や「いばらき木づかい運動」を展開し、苗木を植え、育て、伐採し、木材を有効利用するという「緑の循環システム」を構築して、森林・林業・木材産業の活性化を推進してまいりたいと考えています。

このように、「緑の循環システム」を円滑に構築するためには、県産材の需要拡大が不可欠ですが、今回は県産スギ材の飛躍的な需要が見込まれます、中国木材(株)の本県進出について、ご紹介します。



専用原木船ドライビーム号

本県の鹿島港に進出しました国内最大手の製材会社である中国木材(株)（広島県呉市、堀川保幸社長）は、鹿島工場第一期計画のベイマツ製材工場を平成18年5月から建設しておりましたが、今年5月にベイマツ丸太約4万8千 m^3 を積んだ専用船が初入港し、7月23日から本格的に稼動を開始しました。

また、製材副産物の樹皮やおがくずを燃料と

するバイオマス発電施設（神之池バイオマスエネルギー(株)：中国木材(株)と三菱商事(株)との合弁会社）の完成が来年7月に予定されております。



建設中のバイオマス発電施設

さらに、今後、第二期計画として、国産スギの間伐材を使用する国産スギ製材工場（スギラミナ製材）やスギとベイマツの異樹種集成材を製造する集成材工場などが計画されています。

全国展開を進めている中国木材(株)では、鹿島工場の位置づけを首都圏をメインとした効率的な物流ルートを確保するための9箇所目の物流拠点としております。

今後、これらを契機として、県産材の需要拡大を通じた適正な森林整備の推進により、本県、林業の活性化を図ってまいります。



ベイマツが集積された原木ヤード

城里町における森林整備

城里町産業振興課

城里町は平成17年2月1日に常北町・桂村・七会村の3町村が合併して誕生した町で、茨城県の北西部に位置しており、東は那須岳に源を発して豊かな水量を誇る那珂川沿いに常陸大宮市・那珂市・西は八溝山系に連なる山岳を経て栃木県茂木町、南は県都水戸市と笠間市に接し、北は常陸大宮市と接しています。

町における森林の状況は、総面積161.73km²のうち約61%の99.17km²が山林です。内訳は、民有林面積60.22km²、国有林面積38.95km²で、民有林の人工林率は43.4%と県平均を下回っている状況にあります。

町では、この豊かな自然林や雑木林を利用し、ホダ木によるシイタケ栽培が盛んに行なわれています。伝統的な手法で作る干しシイタケをはじめ、地粉にシイタケの粉末を練り込んだ「椎茸そば・うどん」も大変好評です。平成元年には、温度湿度自動制御の「七会きのこセンター」が完成しました。ここでは、舞茸・シメジ・ナメコなどの菌床栽培が行なわれ、土産品や贈答品としても人気が高まっています。



シイタケのホダ木

町の森林整備は、国や県の補助を利用し、民有林道等事業・森林整備担い手対策事業・森林整備地域活動支援交付金事業・間伐促進全体計画調査事業・良質材生産対策推進事業・森林愛護運動推進事業等を実施しています。このうち、林道事業では、21路線が整備され、町内の林道整備はほぼ完了しており、その後の維持管理を委託や直営により行っています。また、森林愛護運動推進事業では、町内に3団体ある緑の少年団が県立自然公園内の森林清掃活動や各団所属校の校内緑化事業などに取り組んでいます。



整備された杉林

現在、林業を取り巻く状況は木材価格の低迷や担い手不足により極めて厳しい情勢下にあります。人間などの生物はその命を森林に支えられているといっても良いほど間接・直接的に森林と深い関係を持っています。二酸化炭素を吸収し、水質の浄化をする他、森林を訪れる私たちに爽やかな天然の空気と大きな満足感を与えてくれます。

このような、大切な森林を維持していくため、補助事業を活用し、森林組合等関係機関と連携を密にし、森林づくりに取り組んでいきます。

森林環境税の早期実現について

(社) 茨城県林業協会

(社)茨城県林業協会は、林業関係団体を会員とする社団法人であるとともに、「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき茨城県林業労働力確保支援センターとして知事から指定を受け「緑の雇用担い手対策事業」等も行ってまいります。

さて、森林は、木材生産はもとより、水源のかん養、土砂崩壊や流失の防止機能、景観の形成や保健休養機能、さらには、地球温暖化の原因である二酸化炭素の吸収機能など私たちの安全で健康な生活や経済活動に無くてはならないものです。

しかしながら、丸太の国際価格相場「100ドル前後/m³」と言う経済のグローバル化と船舶の輸送能力やコスト削減の急進により外材との競争が激化し、森林・林業・木材産業を取り巻く環境は深刻な状況となっています。また、この丸太価格では、木材の収益を持って森林を健全に管理するという持続可能な森林経営を行い、農山村に豊かさや活力をもたらすことは不可能であります。

一方、温暖化ガスの排出量の削減を義務づけた京都議定書の発効により、二酸化炭素削減量6%のうち、3.9%を森林で吸収することとなりました。このためには、平成19年度からの6年間で120万ヘクタールの森林整備

と最低でも財源として1,000億円が必要とされています。

健全な森林を取り戻し、次代に引き継ぐ豊かな県土を創出するためには、なんとしても森林整備を進めることが喫緊の課題であり、新たな財源の確保が重要です。このためには、本県独自の森林整備の財源として「森林環境税」の早期実現を図ることが肝要です。

このことから、昨年8月31日に25の林業団体の代表及びその関係者が茨城県知事及び県議会議長に森林環境税早期実現の要望を行いました。

さらに、本年2月13日には、林業関係団体をはじめ、霞ヶ浦市民協会などの水資源関係団体、県土地改良団体連合会など農業関係団体の代表者約50人からなる森林環境整備推進会議が開催され、「森林と環境を守る決議」を採択し、県など関係行政機関に要望したところです。

今後、県民運動として広げ、一致団結して実現を図る所存でありますので、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。



森林環境整備推進会議の様子

協会だより

平成19年度 通常総会の開催

平成19年5月28日(月)、水戸市内の水戸京成ホテルにおいて、会員数23名、出席・委任状出席を含め22名で第28回通常総会を開催いたしました。

当日は、村田省吾理事(前北茨城市長)の開会のことばに続き、矢数浩会長(常陸大宮市長)より「本県を襲った昨年10月の異常低気圧による災害など、地球規模の自然災害がひん発している。

県土保全に強い森林を育成・整備するため重要な役割を果たしている治山事業・林道事業について、積極的に整備を進めてまいり、関係団体との密接な連携のもと、時代に対応できるコンサルティング精神を築いていきたい。」とのあいさつがありました。



矢数会長のあいさつ

総会には、幾浦久県農林水産部次長、関宗長県議会議員・県林業協会長、瀧川忠昭(社)日本治山治水協会事業部長、ほか県職員・各関係団体の方々など多数のご臨席を頂き、盛会のうちに開催されました。

また、議事の前には、平成18年度林道維持管理コンクール入賞の常陸太田市・高萩市、治山木材使用工事及び林道木材使用工事コンクールの各入賞施工業者の方々に対し賞状及び記念品の贈呈を行いました。

矢数会長を議長に選任し議案については、全議案原案どおり可決承認されました。

なお、議案第7号 役員の一部改選については、関育夫専務理事の後任に海老根四郎氏が就任いたしました。

〈提出議案〉

1. 平成18年度事業報告並びに収支決算について
2. 平成19年度事業計画並びに収支予算について
3. 平成19年度会費の賦課及び徴収について
4. 平成19年度借入金の最高限度額の決定について
5. 平成19年度役員報酬の決定について
6. 平成20年度暫定予算について
(平成20年4月1日から平成20年度通常総会まで)
7. 役員の一部改選について



来賓の方々



矢数会長、幾浦農林水産部次長と治山・林道木材使用工事コンクール受賞者の方々

◆平成18年度 林道維持管理コンクール

林道の適正な維持管理業務の推進と改善を図り、路体保全と通行の安全を確保するため、県の後援を得てコンクールを実施し、次の路線を表彰しました。

なお、高萩市大能・米平線を中央協会主催のコンクールに推薦した結果、「日本林道協会会長賞」を受賞しました。

茨城県知事賞 常陸太田市 河原野田平線
茨城県治山林道協会会長賞 高萩市 大能・米平線

◆治山・林道木材使用工事コンクール

民有林治山工事・林道工事における木材（県産材）使用を促進し、施工技術の向上と治山・林道事業の発展を目的として、県の協力を得てコンクールを実施し、次の工事を表彰しました。

◎平成18年度 治山木材使用入賞工事

茨城県知事賞

・生活環境保全林整備事業 第1号
株式会社 鶴田組

茨城県農林水産部長賞

・予防治山事業 第6号 新星建設 株式会社

茨城県治山林道協会会長賞

・復旧治山事業 平成16年度繰越 第2-1号
株式会社 水府工務店

◎林道木材使用入賞工事

茨城県知事賞

・国補林道開設事業 半田線 1 工区
市村土建 株式会社

茨城県農林水産部長賞

・県単林道改良舗装事業 矢の沢当平線
那北建設 株式会社

茨城県治山林道協会会長賞

・国補林道開設事業 平・諸沢入線
株式会社 鈴木組

◆治山・林道工事コンクール

茨城県林業土木事業協同組合が毎年、実施している上記コンクールに協力しています。詳しくは、当協会ホームページをご覧ください。

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

○ 協会の主な動き ○

▲ 1月9日

第57回 千鳥会 (水戸市)

1月11日

明日の茨城づくりをめざす新春の集い(水戸市)

1月25日

茨城県農林水産振興協議会セミナー(水戸市)

1月26日

林業団体合同新年の集い (水戸市)

1月30日

全国治山林道協会会長会議 (東京都)

民有林振興会総会・セミナー (東京都)

▲ 2月5日

茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議
(水戸市)

2月9日

公益法人制度改革に関する説明会 (水戸市)

2月13日

森林環境整備推進会議 (水戸市)

2月27日

茨城県林業種苗協同組合通常総会 (水戸市)

茨城県農林水産業関係団体連絡会懇談会
(東京都)

▲ 3月23日

第4回 理事会 (水戸市)

「平成18年度治山林道強化促進補助金実績報告書」提出 (茨城県)

3月24日

みんなで豊かな森づくり フォーラムin
つくば2007 (つくば市)

3月26日

(社)茨城県緑化推進機構役員会・通常総会
(水戸市)

▲ 4月12日

都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会
通常総会 (東京都)

4月16日

平成19年度民有林林道設計審査 (東京都)
緑の街頭募金 (水戸市)

4月24日

森林整備グループ関係担当者会議 (水戸市)
(社)茨城県林業協会幹事会 (水戸市)

▲ 5月8日

監事会 (水戸市)

5月9日

(社)茨城県林業協会理事会 (水戸市)

5月21日

茨城県林業土木事業協同組合通常総会
(水戸市)

5月23日

(社)茨城県林業協会通常総会 (水戸市)

5月24日

茨城県森林組合連合会通常総会 (水戸市)

5月28日

第1回理事会・第28回通常総会 (水戸市)

5月29日

(社)茨城県緑化推進機構理事会・通常総会
(水戸市)

茨城県木材協同組合連合会通常総会(水戸市)

▲ 6月1日

「平成18年度事業報告・収支決算書」提出
(茨城県)

6月4日

公有林野全国協議会通常総会 (東京都)

6月20日

茨城県農林水産振興協議会総会 (水戸市)

6月27日

公益法人制度改革及び「発注者支援制度」等
に関する意見交換会 (東京都)

茨城県林業改良普及協会通常総会 (那珂市)

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 矢数 浩

水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真：

「静寂」(土浦市) 佐藤征男氏撮影